

別にあってもいいではないか

「信じる」と言う言葉の意味が違う。後者は認めることである。

社会倫理の次ぎの技術の時間はレポート作成または提出者は自習となった。暇になって、僕は臼井君と宗教について意見交換続けた。僕は臼井君と大きな声で議論続けた。

教室では、他の連中も横で僕の話聞いていたが、「理解できない」と言う友達や臼井君と一緒に僕に反論する友達もいた。

僕にとっては、わかりきった事だが、なぜだ！

僕に議論内容にミスがあるのか、それとも、彼らがおかしいのか。

横から、途中、見回りに来た仙元先生もニヤニヤ。

「お互い、議論し合うと、本当に面白い。どんどんやろう、時間ある時は。」と人の気持ちも知らないで、気楽な口調。

臼井君と僕は、お互いに、真剣だった。机に座って、向かい合い、議論する僕たちだった。

帰りに大島にもバスの中で、僕の意見を話したら、大島は僕とほぼ同じ意見で、「同感、同感。」とうなずいていた。